

2023年度 法学部 スポーツ推薦入学試験 小論文問題

受験番号	氏名
E	

学生スポーツにも様々な形が存在する中で、皆さんは入学後、学生界、もしくは日本や世界のトップを目指そうとする存在だと思います。

(1) 楽しむことを優先するレジャースポーツではなく、いわゆる勝利至上主義の世界に位置する訳ですが、トレーニングや試合への取り組みや指導体制について、トップを目指しながらも、配慮すべきことについて、どのようなことが思い浮かびますか。

(2) また、スポーツ現場で今も起こるパワーハラスメント問題を無くすために、国や教育組織はどのような取り組みを考えて実行していくべきだと思いますか。

(1) (2) 合計で 700 字以上 1,000 字以内で答えてください。

2023年度 経済学部

スポーツ推薦入学試験

小論文 試験問題 (800字以内で解答しなさい)

近年さまざまな分野で、以下の17の目標で構成されているSDGs(持続可能な開発目標、Sustainable Development Goals)の達成が国際目標となっています。スポーツの分野も例外ではありません。以下の目標の中から自分のスポーツ活動に関連するものを選び、日常の活動をどのように改善すればSDGsの達成に貢献できるか、述べなさい。



国際連合広報センター「SDGsのアイコン(白黒)」より

(https://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/sdgs_logo/sdgs_icon_black_and_white/)

下記の文章を読んで、設問1, 2, 3の全てに答えなさい。

文科省とスポーツ庁が主導して、公立中学校での部活の「地域移管」が進められている。来年度からまず運動部の地域移管が始まり、文科系部活についても来月には提言がまとめられるという。

勝利至上主義に毒された指導者が生徒の人格を否定するような暴言を吐き、体調を崩すほどの長時間拘束を強いる「ブラック部活」はない方がましだと私は思う。

一方で、教員にとっての負荷も過大なものになっている。部活の顧問になって休日返上して指導に当たった教員が心身を病むという事例も報告されている。

生徒も苦しみ、教員も苦しめるのだから、そんな部活はアウトソースすればいいというのがこのたびの「地域移管」の理由だ(と私は思っている)。

むしろ文科省はそんなことは言わない。地域移管は「少子化による廃部で、子どもの選択肢が減っているのもっと多様な選択肢を提供する」「専門家による指導が受けられる」という「子どもたちにとっていいことが増える」施策だとされている。

しかし、アウトソーシングを受け入れる地域の側にも不安材料はある。部活の指導にあたる人はその分野での専門家ではあるけれど、教育者ではない。果たして部活の「教育的な意味」をどれくらい理解しているのか。

部活というのは世界のどこにでもあるというものではない。以前、フランスの青年から「先生は合気道をどこで教えているのですか？」と訊かれて「大学のクラブ活動」と答えたら、怪訝な顔をされたことがある。「何ですか、それ？」というので、「放課後に学生がキャンパスでスポーツをしたりバンドやったり芝居やったりするじゃない」と説明したが、「そんなものはフランスにはありません」と言われた。

学校は勉強だけするところで、授業が終われば生徒たちは外に出され校舎は施錠される。サッカーや水泳のクラブはあるが、それはいったん家に戻ってから個人的に通うものであって、車でクラブまで送り迎えしてくれて、高額の料金を負担できるだけの経済力のある家の子どものためのものである。そう言われてみたら、フランス映画で中高生が部活に興じるという場面を見た記憶がない。

パリの「バンリュー」と呼ばれるスラムには図書館も美術館も音楽ホールも映画館も、およそ文化的なものは何もないという話をそこで中学の先生をしていたフランス人から聞いたことがある。だから、そこで暮らす子どもたちは本を読んだり、音楽を聴いたり、美術品を鑑賞したりという機会そのものから遮断されている。

なるほどそのようにして文化資本の偏在が制度化され、階層社会が再生産されているのかと得心がいった。

日本の部活には「文化資本の民主的分配」という側面があったことを私たちは忘れていてるのではないか。部活のおかげで貧しい家の子どもたちでも、運動器具や楽器やさまざまな機材を無償で使うことができる。それによって子どもたちは運動能力であれ、芸術的才

2023年度 中央大学理工学部 スポーツ推薦入学試験
小論文試験問題

実施日 2022年12月5日

1. 大学入学後の勉学とスポーツとの両立方法について、現在までの経験を踏まえて、記述してください。
2. 中央大学では、建学の精神「實地應用ノ素ヲ養フ」の下、コミュニケーション力、問題解決力、知識獲得力、組織的行動能力、創造力、自己実現力などの能力を身につける教育が実施されています。中央大学理工学部における学びにおいて、これらの能力の習得にあなたのスポーツ経験をどのように活かすことができるか、具体的に記述してください。

2023年度 文学部スポーツ推薦入学試験

小論文 出題用紙

問題

1. 健康を維持するためにスポーツをすることが不可欠だと言われますが、他方で過度にスポーツをすることや、健康状態をむしろ悪化させることを心配してスポーツを始めることをためらう人々もいます。

スポーツが健康増進のために役立つためには、個人のレベルで、また地方自治体、国のレベルでどのように取り組んでいくべきか、あなたの意見をなるべく具体的に述べなさい。

2. コロナ禍の中、東京オリンピックが開催され、東京で高いレベルの国際大会の実現を見ました。他方、開催費用の巨大化、誘致過程等での金銭問題についても語られています。そうした中、今度は札幌への二度目のオリンピック招致が話題になっています。

日本は、国際的な体育イベントを今後も招致し続けるべきと考えますか。もしそのようにし続けるべきであるとすれば、国民個人それぞれが、また招致をおこなうスポーツ団体、国などが、どのように取り組んでいくべきか、あなたの意見をなるべく具体的に述べなさい。

2023 年度 総合政策学部 スポーツ推薦入学試験

小論文課題

問題 次の問いに 800 字程度で答えなさい。

ここ数年間に流行した新型コロナウイルスは、社会の様々な面で問題を浮き彫りにした。そのなかでも、2021 年夏に開催された東京オリンピックと東京パラリンピックの各競技は、異例の対応を迫られた。このため、東京オリンピック・パラリンピックの開催については、賛否の意見が分かれた。賛否の意見を比較しながら、自説を展開しなさい。